

# 全国中学校社会科教育研究大会 京都市大会に参加して

---

福島市立清水中学校

佐藤 誠

伊達市立桃陵中学校

小笠原義徳

本宮市立本宮第二中学校

高橋 卓史

福島大学附属中学校

阿部 哲

# はじめに

この度、全国中学校社会科教育研究大会京都市大会に参加させていただいた。京都市の中学生の様子や、先生方の様子、研究の方向性など、様々な視点から学ぶことができ、大変有意義な研修となった。今回経験してきたことを、日常の教育現場で、そして6年後に開催される、福島県大会に生かすことができるようにしたい。



# 概要

---

- 1 訪問日程
- 2 レセプションのようす
- 3 公開授業のようす
- 4 授業後の協議会のようす

# 1 訪問日程 令和元年11月7日(木)～8日(金)

## 1日目(全体会・記念講演)

12:30	13:00	13:40	14:10	14:20	15:40	16:00	16:40	17:30	18:00	18:30	20:30
受付 (30)	開会式 (40)	基調提案 (30)	休憩	記念講演 (80)	休憩	閉会式 (40)	移動 休憩	理事会 (30)	移動 休憩	レセプション (120)	
京都市勧業館「みやこめっせ」							京都ホテルオークラ				

## 2日目(公開授業 3分野×2・分野別提案 3分野×1・研究発表 3分野×1)

9:00	9:30	9:45	10:00	10:50	11:10	12:00	13:00	13:30	14:30	15:00	15:15	16:00	16:40	17:00
受付 (30)	授業説明	移動	公開授業Ⅰ (50)	移動 休憩	公開授業Ⅱ (50)	昼食 (60)	分野別提案 (30)	研究協議 (60)	指導助言 (30)	休憩	研究発表 (45)	講師講評 (40)	閉会行事	
京都市勧業館「みやこめっせ」														

## 2 レセプションのようす①

- 各テーブルごとに、全国の先生方が配置され、他県の先生方と交流をする時間が十分に確保できた。
- 各テーブルには最低1名京都市の先生方が配置されており、翌日行う授業について事前に聴くことができた。
- 全国社会科教育研究会会長、京都市大会実行委員長、京都市教育長などのあいさつがあった。
- 翌日に授業を行う授業者などが、意気込みを述べる場が設定されていた。



## 2 レセプションのようす②



京都ならではの  
おもてなしが行  
われた。



### 3 公開授業のようす（授業前）



○郡山ビックパレットのような大きなホールを借りて、3分野とも同会場で開催された。

○写真奥のスクリーンには、授業参観する際の視点などが紹介されていた。  
(公開授業が始まる前の写真)



■単元名：近畿地方① 課題把握 → 課題追究 → 課題解決 → 新たな課題 → 課題把握 → 課題

# 資料からわかる近畿地方の特

発問「近畿地方の特徴って何だろうね」

教室には「日本全国の掛図」／「近畿地方の掛図」  
 資料動画「Google earth ツアー機能」でこれまでの日本の諸地域の学習を振り返る  
 資料提示「近畿2府5県のPR資料」

- 和歌山観光 MOVIE <http://www.wakayama-kanko.or.jp/mizunokuni/movie>
- 滋賀 PR ポスター <https://mainichi.jp/articles/20170601/dtlk25040472000c>
- 京都観光 ポスター <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/earse/0000035115.html>
- 大阪 PR ポスター [http://www.osaka.info.jp/agent/upload/files/poster\\_sample.pdf](http://www.osaka.info.jp/agent/upload/files/poster_sample.pdf)
- 三重観光 ポスター <http://www.yohk.co.jp/work/poster/>
- 兵庫観光 ポスター <http://blor.noo.ne.jp/s0809/e71719938ea964cc3ef7e84f6658ce52b>
- 美しい観光ポスター63選 <http://ruimacda.com/4?poster/91-55>

指示「これらの資料から読み取れる範囲で、近畿地方の特徴をキーワードであげてみよう」

発問：どの資料にも共通するキーワードは何だろう？

資料から見えるキーワード  
 ↓  
 生徒の反応「歴史・寺・神社・伝統・古い街並み・水・琵琶湖・自然・木・森」

発問「このキーワードって、全部、ひとつの言葉でまとめられそうじゃない？」  
 “環境”

説明「近畿地方を学習していく視点を“環境”にしていっていかね」

資料提示「高さ規制 広がる空と消える町家」 「世界遺産もピンチ ナラ枯れの被害」  
<http://www.sankei.com/smp/west/news/170318/wst1703180056-s1.html>

「どちらも環境の問題だね。近畿地方を学習していくにあたって、単元を貫く問いを“近畿地方の環境を維持・発展させていくために大切なことって何だろう”に設定しよう。」

発問・指示  
 大切なことって何だと思う？  
 学習を始めていく段階で、自分の思う考えを書いておこう。

交流

発問「“近畿地方の環境を維持・発展させていくために大切なことを深く考えていくうえで、どんなことを学習していく必要があると思う？”

今、環境に関係するどんな問題があるのか。  
 ・環境問題の現状（結果、原因）

見通しを持つ

5 単元の学習を進めていく 貫く問いに対する現

今日は近畿地方の環境が問題になっているから、近畿地方の環境を維持・発展させるために、今から何を学習していく必要があるか、という問いを設定しよう。

5 単元の学習を進めていく 貫く問いに対する現

単元名【日本の諸地域—近畿地方】 8年

単元を貫く問い  
 近畿地方の環境を維持・発展させていくために大切なことは何だろう？

各時間の学習で、どんなことを学習したのか。その中で、単元を貫く問いに対し、大切だと思ったこと、感じたこと、疑問に思ったことなどをまとめておきましょう。

時間目	学習内容	重要ワード
1時間目 10月21日(月)	琵琶湖の水を観光資源として、その水にはお茶の産地が限られている。必要があると思った。	観光資源
2時間目 10月28日(水)	工場排水をなくして、琵琶湖の水質を良くするのことが大切だと思った。	工場排水
3時間目 10月28日(水)	僅かな面積の林業を支えているのは外国産木材の輸入を制限して、後継者を増やすことにより、村の暮らに助けをくれることが大切だと思った。	木材輸入 後継者 林業所得
4時間目 10月29日(木)	この問題への対策も経済のために琵琶湖の水質を良くして、対立を解消する必要がある。	経済 誘致 対立

課題解決

8年  
 ○単元を貫く問いに対するわたしの結論 (それまでの学びを振り返って単元の学習の最後に記入します)

琵琶湖の水質を良くして、新幹線、丹波市の工業団地の誘致など、経済や誘致の事と対立しているけれども、やはり考え方を自然と共存するという方向に変化させることが大切だと思えました。

琵琶湖や林業の問題も与益者に与えるのではなく、受益者である国や、国民の立場が多くなるように保障をとり、後継者を増やしたり、一緒に協力して木質改善に取り組んだりすることが必要だと思えました。

この問題に対して、大切なことか、わかれているか、良いと思えました。

グループの仲間とあなたの結論に対するコメントを記入しよう。

新たな課題

○ 各分野の会場の壁には、前時までの授業の資料や生徒のワークシートなどが掲示され、多くの参加者が授業前に見ていた。



### 3 公開授業のようす（授業中）



○ホワイトボードを3枚並べて黒板として使用

○生徒の周りをイスで囲み、来賓の方々は座って参観

○空いていれば一般参加者も座ってOK



○教師がICT機器を使って資料をスクリーンで提示





○授業会場の後方にもスクリーンがあり、授業中の生徒の手元を映す専用のスクリーン

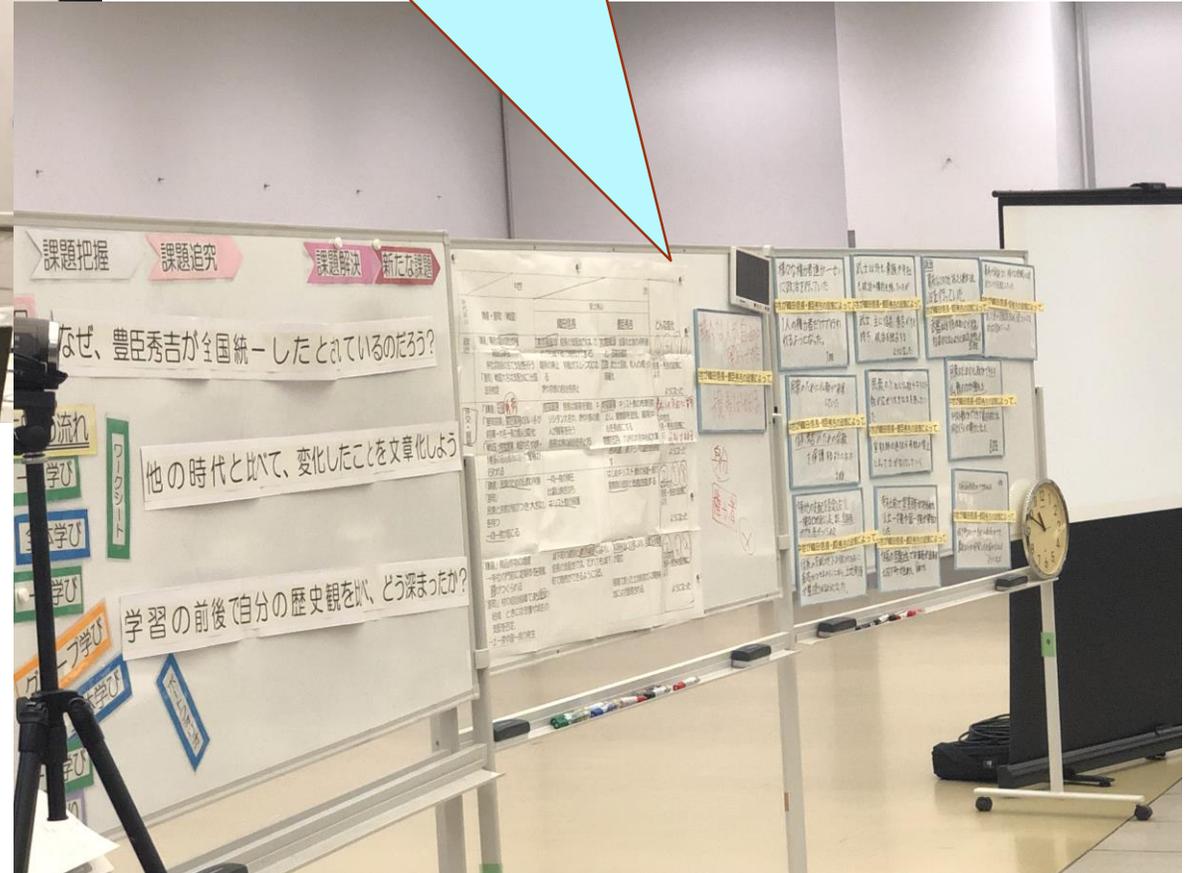
○タブレットで撮影して回る専門の先生が2人



○生徒が発表するときは、マイク係の教師がかけ寄り、マイクを使って発表



○グループで話し合ったことをまとめたホワイトボードを貼る



○生徒の意見や考えを、生徒に貼らせる場面



# ○授業の板書【地理的分野】

近畿地方

課題把握 → 課題追究 → 課題解決 → 新たな課題

学習課題 琵琶湖の水質改善に向けて大切なことって何だろう？

① 琵琶湖の水質 → ② 改善 = 水きれい

③ 悪化の原因

- 生活排水
- ゴミを捨てる(観光客)
- 工場排水

>



合成洗剤の不使用を呼びかける活動  
ヨシという植物を植える活動  
森の木を動物から守る活動

単元を貫く問い 近畿地方の環境を維持・発展させるために大切なことってなんだろう？

思恵を受ける = 受益者

思恵を与える = 与益者

琵琶湖淀川水系 給水範囲

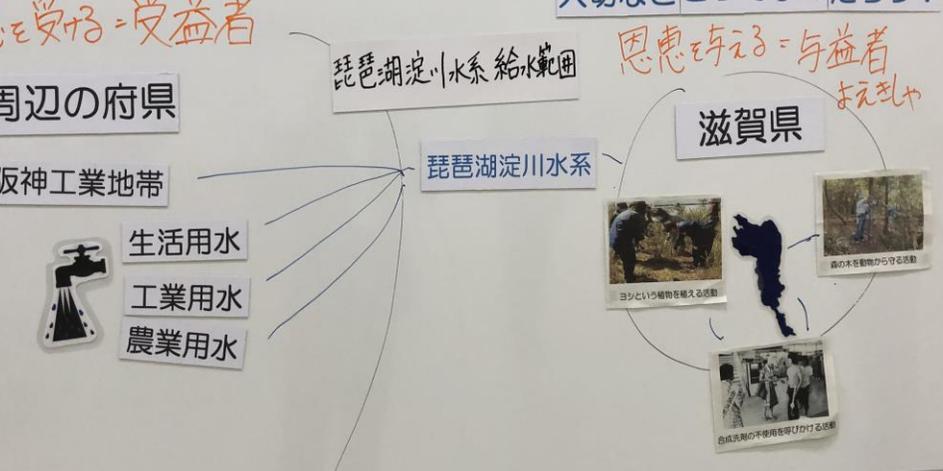
周辺の府県

阪神工業地帯

琵琶湖淀川水系

滋賀県

生活用水  
工業用水  
農業用水

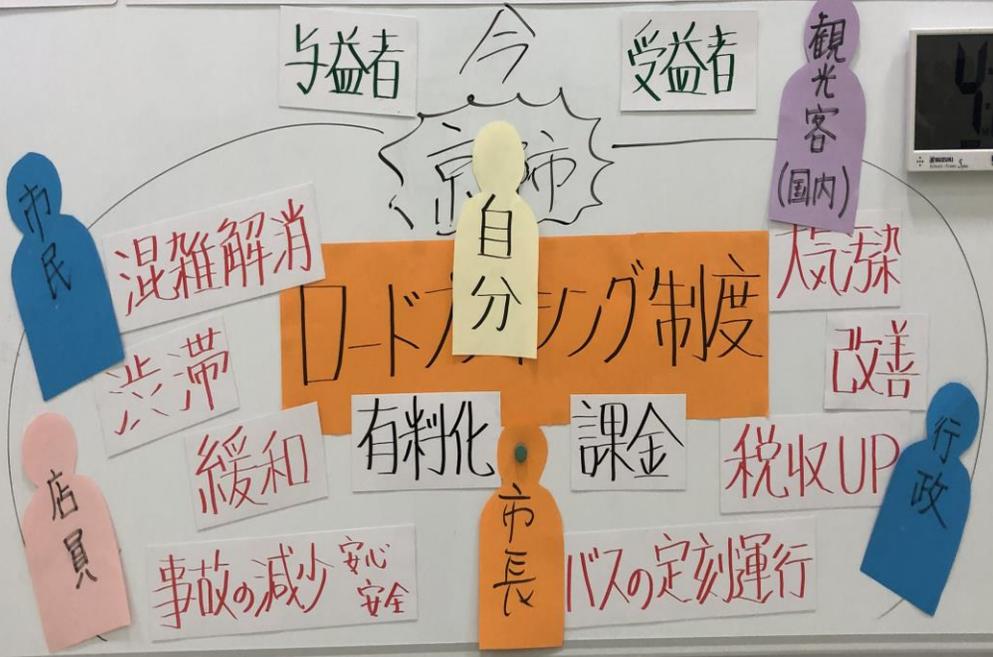


ヨシという植物を植える活動  
森の木を動物から守る活動  
合成洗剤の不使用を呼びかける活動



課題把握 課題追究 課題解決 新たな課題 課題把握 課題追究 課題解決 新たな課題

学習の課題 この単元の学習をどのようにすすめていけばよいのだろうか?



近畿の学び

近畿地方の調査結果を掲載・見直しを促すために大公開しています。

1. 調査結果を掲載・見直しを促すために大公開しています。

2. 最新の調査結果を掲載・見直しを促すために大公開しています。

3. 最新の調査結果を掲載・見直しを促すために大公開しています。

4. 最新の調査結果を掲載・見直しを促すために大公開しています。

5. 最新の調査結果を掲載・見直しを促すために大公開しています。

身近な地域の調査

京都市

歴史 伝統 文化  
 自然 美しい 古町  
 世界から注目を 受け取る  
 Popular 観光  
 資源がある地域

未来ってどうなる?

発展途上

都市京都



# ○授業の板書【公民的分野】

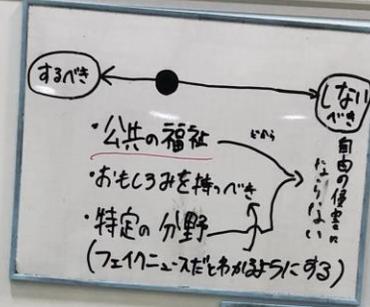
課題把握 → 課題追究 → 課題解決 → 新たな課題

単元を貫く問い 憲法の理念に基づく政治の役割あるべき姿は何だろうか?

本時の問い フェイクニュースをめぐる課題に対し、政治のあるべき姿はどのような姿だろうか?



法律で  
規制する



規制する  
→ 人をたのませる理由で  
フェイクニュースをのせるのしいかも  
しれないけど、人をたのませるに  
よせようかもしないから。  
6期生

法律で規制する 4期生  
理由  
人を傷つけてしまうような  
うそは良くないけど、イイリアル  
ワールドにいる人を乗せさせる  
ニュースはいいと思うから。

「#フェイクニュース」「#偽」  
とかを明記してある場合  
のみ許可し、その他の場合  
は法律で罰するべき。  
→ 規制しないと、人々が不  
なり、選挙結果のときにもい  
から。

・フェイクニュースがあると  
何を信じていいかわからない。  
・人々が困る。  
・良いか悪いか判断する。  
9期生

# 公開授業について

○3分野ともに、2つの公開授業が行われた。

## 【地理的分野】

- ① 近畿地方の環境を維持・発展させていくために大切なことは何だろうか？  
→ 琵琶湖をテーマに近畿地方の人々の暮らしを考察する
- ② 京都市は、どんな未来のあり方を目指せばよいのだろうか？  
→ ロードプライシング制度導入についてを検討する

①は、近畿地方に生活していく上で考えさせる

②は、より地域に密接し、京都市で生活していく上で考えさせる  
授業であった。



## 【歴史的分野】

- ① 全国統一がなされたとされている理由を考えてみよう。
  - 豊臣秀吉には、なぜ天下統一という言葉が使われたのか考察していく
  
- ② なぜ、中世から近世に変わったとされるのだろうか？  
それが本当に中世から近世への変化だといえるのだろうか？
  - 「中世」と「近世」という単元を比較する

どちらの授業も、京都市ならでの授業提供ではなく、全国どの学校でも活用、実践できるスタンダードな課題であり、参考になった。



## 【公民的分野】

- ① フェイクニュースをめぐる課題から政治と憲法の役割を考えよう。  
→ 現代社会の新たな課題を取り上げた授業
  
- ② 政治に関わる際に大切なことは何か考えよう。

対立と合意を意識して、課題解決を図っていく授業であった。



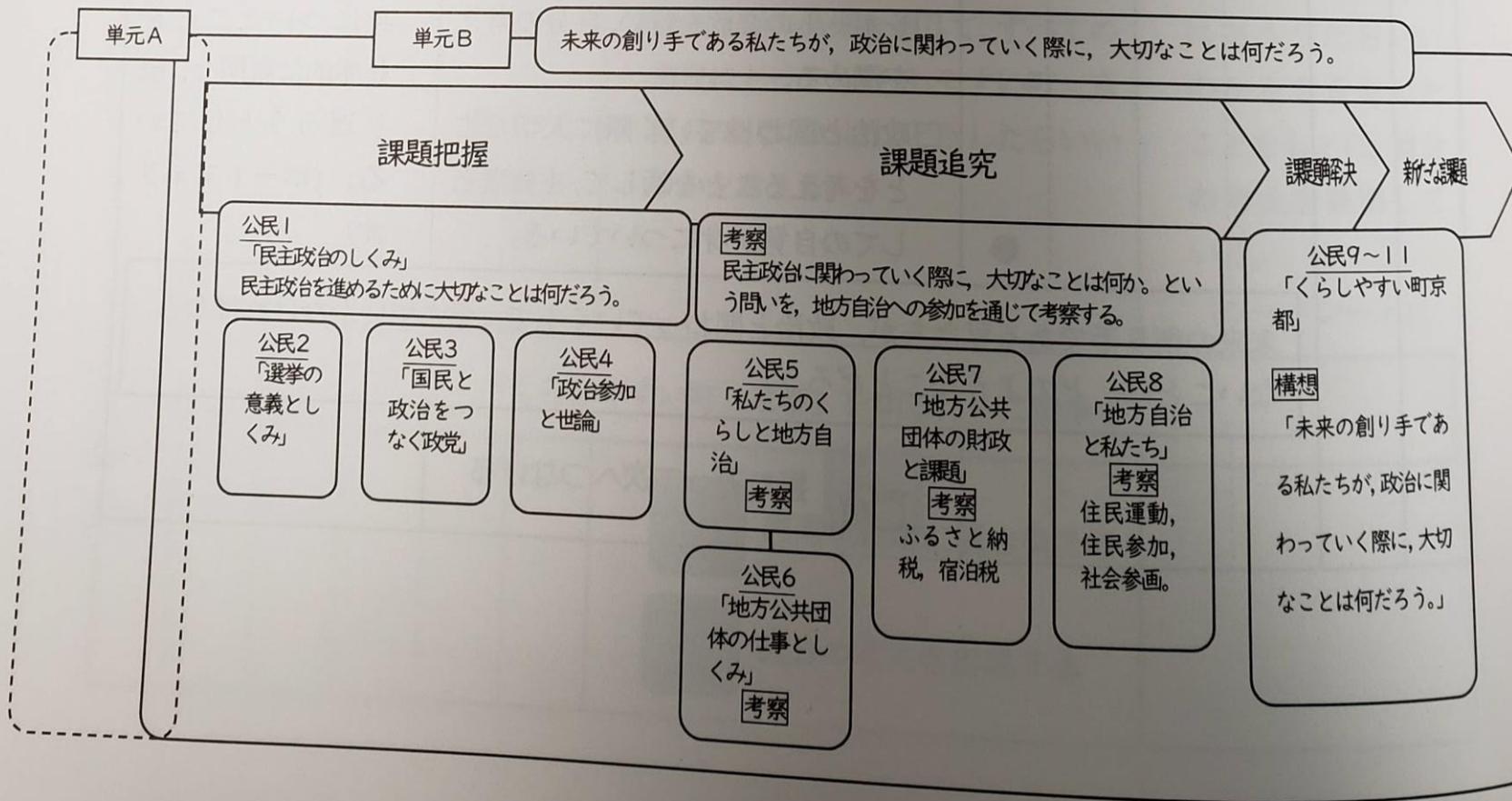
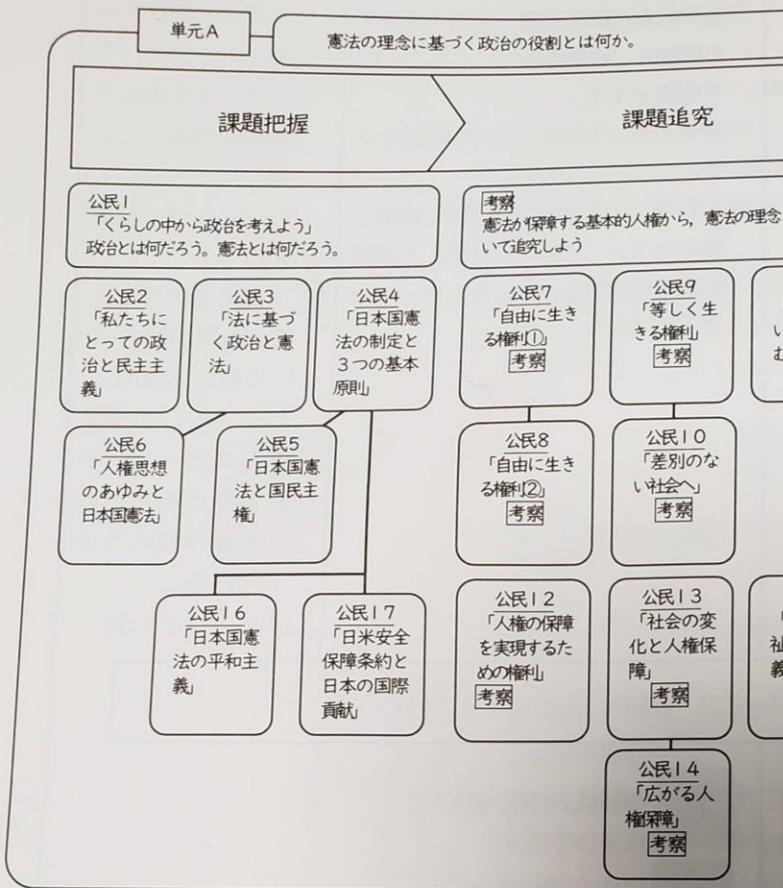
## 【公民的分野】

① フェイクニュースをめぐる  
課題から政治と憲法の役割を考え  
よう。



# 単元構想図

○単元構想図○



# 指導案

4-A-1 本時の目標

- フェイクニュースをめぐる課題の解決方法を探る活動を題材として、個人の権利と社会秩序の調整において政治が果たす役割について、必要な情報を整理し、多面的・多角的に考察させる中で政治に対する自分の意見を構想できる。
- 現代社会が抱える課題を、多面的・多角的に考察し、憲法や政治に対する様々な見方・考え方を働かせる中で、自らが主体的に政治に関わろうとする態度を養う。

4-A-2 本時①の展開 (18/18時間目)

学習内容・活動	教師の活動 (○)	評価
<p>1 フェイクニュースの問題点について考えながら、本時の学習課題を確認する。(10分)</p> <p>カードで判断 問題ありなし</p> <p>空飛ぶヘンキン 矢張り 熊本地震(2016) 災害対策</p>	<p>○ ホワイトボードに、本時の学習課題を提示する。</p> <p>学習課題</p> <p>現代社会の課題から、憲法にもとづく政治のあるべき姿を考えよう。</p> <p>○ 複数のフェイクニュースの事例についての資料を提示する。</p>	
<p>【補助発問①】「この事例は問題がありますか、ありませんか。」 「なぜ、この事例が問題だと思いましたか。その理由は。」 「このような課題に対して、どのような対策が必要だと思いますか。その理由は。」</p>		
<p>EVA 新形態 国民投票前 530票 → 150票 (予想される答え)</p> <p>・みんなが安心して暮らせないから、法律で規制すべき、など</p>	<p>→ 2~3名に意見を発表させる ① 527票の50%?</p>	
<p>2 フェイクニュース対策の課題を確認する。(3分)</p>	<p>○ フェイクニュースの対策として、法律で規制することを検討している国もあるが、現実には、多くの国が、慎重であることを認識させる。</p>	<p>ドイツ、シンガポール ① シンガポールとドイツ、どちらが？ ② 国民限定してる？</p>
<p>【補助発問②】 「なぜ、フェイクニュースを法律で規制することに慎重になるのだろうか。」</p>		



# 学習活動を明確にする

18  
本時  
①

個人の尊重と日本国憲法 まとめ  
「現代社会の課題から政治の役割・あ  
るべき姿を考える」

・現代社会の新たな課題と政治、憲法  
の役割(フェイクニュースをめぐる課  
題を例として)

□すべての人が暮らしやすい社会の  
実現に向けて、憲法と政治がどのよ  
うな働きや役割を担っているのか  
をこれまでの知識をもとに多面的  
・多角的に考察し、自らの意見を  
構想する。

□現代社会が抱える課題を、多面的・  
多角的に考察し、憲法や政治に対す  
る様々な見方・考え方を働かせる中  
で、自らが主体的に政治に関わろう  
とする態度を身につける。

●  
構想

思 憲法が保障する  
「基本的人権」と  
「公共の福祉」との  
対立の構造をとら  
え、その調整におい  
て政治が果たす役  
割について、必要な  
情報を整理し、多面  
的・多角的に考察す  
る中で政治に対す  
る自分の意見を構  
想している。  
(レポート)

主 憲法と政治の役割  
について、関心を持  
ち、意欲的に追究す  
るため、解決すべき課  
題を見通そうとしたり、  
様々な見方・考え方、  
価値を踏まえて考  
察・判断したことを振  
り返ろうとしたりし  
ている。  
(レポート)

『フェイクニュース』を、法律で規制するべきでしょうか。



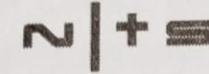
互いの考えを比較する



知識や技能を概念化する



振り返って次へつなげる



独立行政法人教職員支援機構

## ピクトグラム一覧

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
興味や関心を高める	互いの考えを比較する	思考して問い続ける
見通しを持つ	多様な情報を収集する	知識・技能を習得する
自分と結び付ける	思考を表現に置き換える	知識・技能を活用する
粘り強く取り組む	多様な手段で説明する	自分の思いや考えと結び付ける
振り返って次へつなげる	先哲の考え方を手掛かりとする	知識や技能を概念化する
	共に考えを創り上げる	自分の考えを形成する
	協働して課題解決する	新たなものを創り上げる

図6 学習活動を明確にするピクトグラム

# 単元を貫く問い・本時の問い

課題把握

課題追究

課題解決

新たな課題

憲法の理念に基づく政治の役割・あるべき姿とは何だろうか？

単元を貫く問い

憲法の理念に基づく政治の役割あるべき姿とは何だろうか？

本時の問い

フェイクニュースをめぐり課題に対し、政治の役割あるべき姿はどのような姿だろうか？

フェイクニュースをめぐり課題に対し、政治の役割・あるべき姿とは何だろうか？

# 授業前の 説明

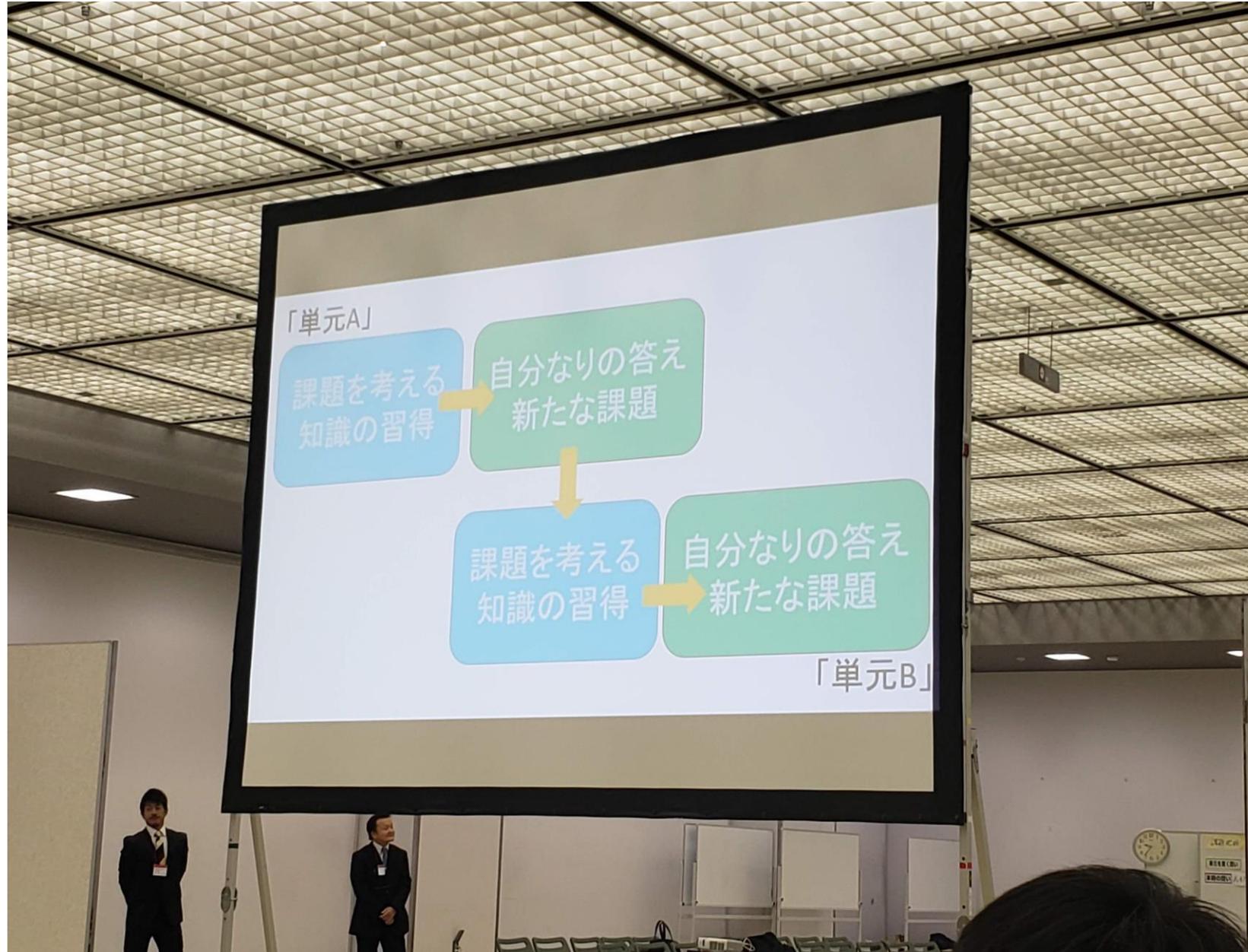
本時の授業を端的に言うと...

生徒から様々な意見が出るような、

「しかけ」「発問」「準備」

の見える授業！

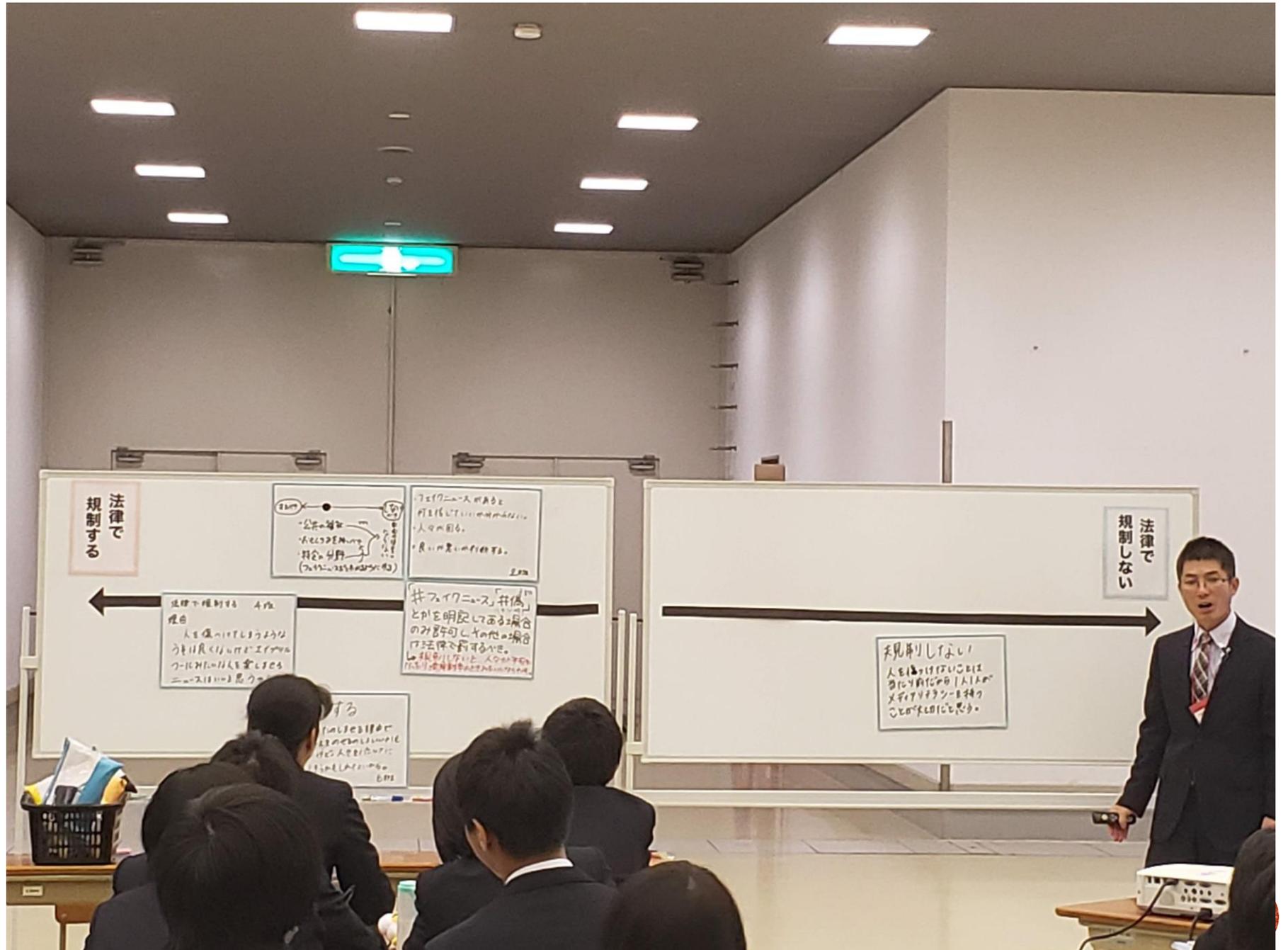
# 単元を貫く 課題



# 授業風景



# 板書

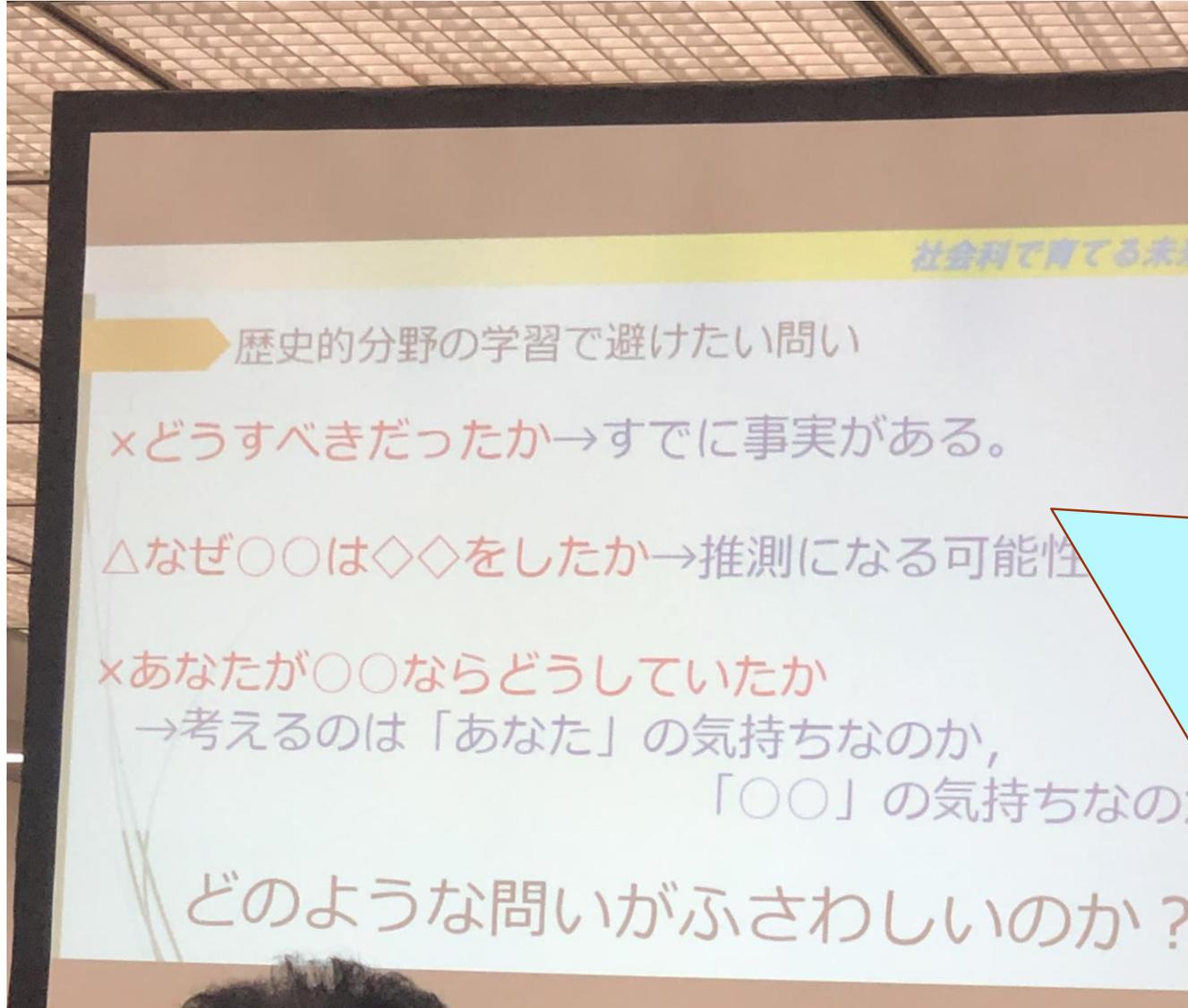


# 授業の中から

- 教師：フェイクニュースを法律で規制するとしたら、政府がやっているこの活動は何をしているの？
  - 生徒：対立を解消している。
  - 生徒：対立を調整している。
  - 教師：では、政府はこれらの活動を通して、社会をどういう方向に導くの？
  - 生徒：社会の秩序を守る。
  - 生徒：人々が幸せになる。
- 
- 教師：政治のあるべき姿は何だろ？
  - 生徒：広範囲から国民の意見を取り入れて、公正・平等から調整していくこと



# 4 授業後の研究会のようす



## 研究会の内容

○公開授業についての協議

○公開授業をどのようなことに留意して作り上げてきたかの概要  
→ 学習課題設定の際のポイントなど、各場面において具体的に紹介されていた。

○京都市で取り組んできた研究の成果の発表



# 課題を解決するプロセス

歴史的分野では困難

課題把握

課題追究

課題解決

新たな課題

## 考察

多面的多角的に考察し分析  
課題に対して、解決に必要な  
社会的事象の特色・因果関  
係・関連などを、根拠をもつ  
て多面的・多角的に明らかに  
すること。

## 構想

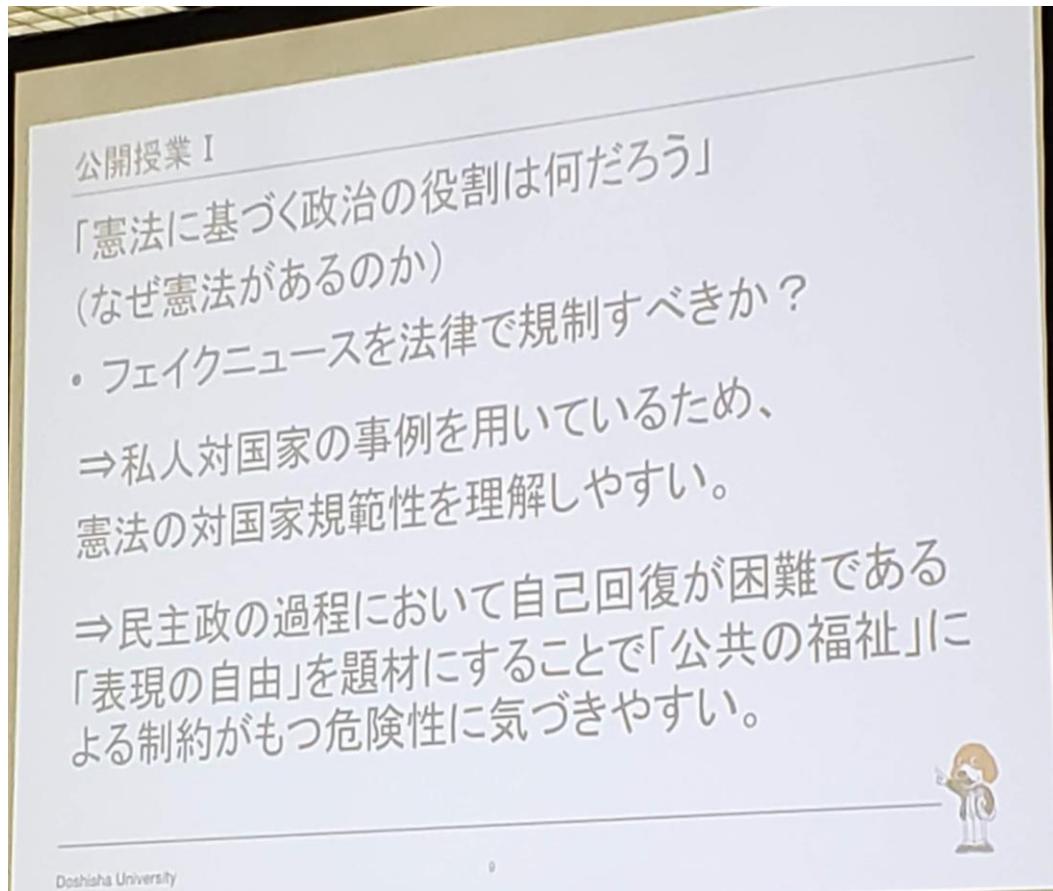
課題の解決に向けて自分の考  
えをもつ 考察した結果をふ  
まえて、課題に対して、自分  
ならどんな答えを選択・判断  
するか、その根拠は何かを明  
らかにすること。



# 公民的分野分科会より

公開授業について

指導助言： 同志社大学 准教授 奥野 浩之 氏



- 「憲法に基づく政治の役割は何だろう」という問いに対して、本時の課題と活動は憲法の対国家規範性を理解しやすいものになっていた。
- 「対立」と「合意」による政治のプロセスを理解できるものになっていた。
- 時数確保が大切であるので、カリキュラム上の工夫をしていくことが重要。



# 公民的分野分科会より

研究発表： 東京都練馬区立大泉学園中学校 藤田 琢治 先生

## 今年度の研究発表

1. 公民的分野における  
「予測力」「対応力」「共生力」  
「発信力」の育成方法の検討、  
マトリクス作成
2. 新学習指導要領大項目D-(2)  
(現行4-イ)  
「よりよい社会を目指して」  
学習指導計画の検討、検証授業の実施  
検証授業の検証

- 東京都として、公民的分野でつきたい力を分析
- 公民的分野の最後のまとめ。レポートの作成の実践。



- 3分野ともに「単元を貫く課題」を設定していた。
- 「深い学び」について意識した授業づくりを行っていた。
  - 見方・考え方を働かせて課題解決に取り組むこと
- 準備や運営については、200人以上の京都市の先生方が携わっていた。
- 4年前から構想、準備に動き出していた。
- 研究会の中で、来年度の開催県である高知からも研究報告がされた。



# 最後に

- 大変貴重な機会を頂き、たくさんの方のことを学ぶことができました。
- 他の授業を見たり、実践を知ることによって自分の実践について振り返り、改善の方向性が見えてきました。
  - ・ 公民的分野 教材研究の工夫（動画資料）、振り返りカードの活用
  - ・ 地理的分野 地元教材の活用 など
- 全国大会であったが、特別な授業はありませんでした。
  - ・ 普段の実践
  - ・ 「各校に持ち帰ってやっていただけるもの」
- 今回学んだことを福島県に還元し、チーム福島で準備していく

